



石川早生芋(大阪府環境農林水産部農政室提供)



石川早生芋の子芋ご飯

発行所  
大阪府農業会議大阪市中央区農人橋2-1-33  
JAバンク大阪信連事務センター3階  
電話 直通 06(6941)2701~2  
<http://www.agri-osaka.or.jp>

発行人 中谷 清

明けまして  
おめでとう  
ございます令和8年元旦  
大阪府農業会議  
役職員一同年金の  
お受け取りは  
JAで

JA/Bank 大阪(JA/信連)

JA/Bank 大阪へ 

新たななにわの伝統野菜  
河南町原産の「石川早生芋」

奈良の法隆寺から持参した  
芋の一株が土地に適し、付  
近の篤農家によって改良さ  
れたのが始まりといわれて  
いる」と来歴の記録がある。

また、この土地に適した  
生育条件については、昭和  
28年の「大阪府農林水産  
業」で、「河南内郡地帶は  
第3世紀層に属する粘質土  
壌で耕土が深く、良質のも  
のを産し(中略)泉南地帶  
では殆ど“たまねぎ”の後  
作とされ、砂質壌土あるいは  
粘質壌土に栽培されてい  
る」とある。昭和33年、大  
阪は約360haの栽培面積  
を誇る一大産地であつた。  
サトイモは、正月料理に  
おいて、子孫繁栄を象徴す  
る縁起物。末永く繁栄する  
大阪農業の未来を切に願う。

(沼田)

南河内や泉州地域を中心  
に古くから生産されるサト  
イモ「石川早生芋」がこの  
ほど、大阪府「なにわの伝  
統野菜」に認証された。

農業会議が昭和58年に編  
纂した「大阪府農業史」に  
は、「石川早生種が南河内  
郡石川村(現河南町)を原  
産とすることは広く知られ  
ているが、聖徳太子が生前  
墓地を磯長村(現太子町)  
觀福寺に造営された時に、  
耕土が深く、良質のも  
のを産し(中略)泉南地帶  
では殆ど“たまねぎ”の後  
作とされ、砂質壌土あるいは  
粘質壌土に栽培されてい  
る」とある。昭和33年、大  
阪は約360haの栽培面積  
を誇る一大産地であつた。  
サトイモは、正月料理に  
おいて、子孫繁栄を象徴す  
る縁起物。末永く繁栄する  
大阪農業の未来を切に願う。

## 新年のごあいさつ

大阪府農業会議会長 中谷 清

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましてはお健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。さて、国では、昨年策定された食料・農業・農村基本計画に



## 新春を迎えて

大阪府知事 古村 洋文



新年あけましておめでとうございます。旧年中は、大阪府政の推進にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。また、日頃から、地域の農地の保全と活用にご尽力いただいておりますこと、心から感謝申し上げます。

昨年の春から秋にわたり開催された大阪・関西万博では、国内外から2900万人を超える方々にご来場いただき、大いに賑わいを見せました。この万博では、次代を担う子どもたちをはじめ多くの皆様が「いのち輝く未来社会」を体感し、関連投資や来阪者による需要拡大が大阪経済にインパクトを与えるなど、様々な効果をもたらしました。また、会場内外のイベントを通じて、大阪産(もん)を知つていただき絶好の機会になつた

おいて、米の生産性向上に向かっては水田政策の見直し方針や地域計画の実現に向けた取組が明記されました。

府内ではこれまでに331の地域計画が策定されましたが、約2割の農業者が規模縮小の意向であり、一方で担い手が引き受けの意向を示している農地は1%にすぎないなど、担い手不足が大きな課題となつております。

地域外の担い手や新規就農者

において、米の生産性向上に向かっては水田政策の見直し方針や地域計画の実現に向けた取組が明記されました。

府内ではこれまでに331の地域計画が策定されましたが、約2割の農業者が規模縮小の意向であり、一方で担い手が引き受けの意向を示している農地は1%にすぎないなど、担い手不足が大きな課題となつております。

農業委員会は、日頃の農地利用の最適化活動を通じて十分に農業者の意向を把握し、協議の場への参画、目標地図案の更新など、地域の実情に応じて取り組んでいくことが求められております。

また、府内では、男女共同参

と実感しております。

大阪府では、この万博のインパクトを最大限に活かし、さらには大阪産(もん)や農空間の魅力を広く発信していくとともに、成長し持続する農業をめざし、力強い大阪農業の実現に向けた取組をしっかりと進めてまいります。

さて、府内の各農村地域において、令和6年度中に策定いたいた地域計画を実現するため、地域の協議に向け調整にご協力いただいているところです。

本年も引き続き、この地域計

画社会の推進、女性農業委員の登用促進の観点から女性委員の組織化の検討を進めております。

府内の女性委員は多様な経験をお持ちの方々が揃つております。消費者視点をお持ちの皆様の知識が農地利用の最適化活動に反映されるよう期待を寄せております。

大阪府におかれましては、地域計画の実現をはじめ、引き続き広域行政として、大阪農業の振興発展のため、ご指導・ご支援をいただき、大阪農業の活性化に格別のご尽力をお願いいたします。

大阪府農業委員会組織では昨

とご参画のもと、様々な公益的機能を有する農空間の保全と活用に取り組んでまいります。

加えて、「大阪府肥料価格高騰対策支援金」の給付を継続して行うことにより、長引く物価高騰により厳しい状況に直面している農業者を守つてまいります。引き続き、農業委員会、市町村、大阪府みどり公社、JAなどの関係機関の皆様と連携し、様々な取組を進めてまいります。

本年が皆様にとって素晴らしい年となりますよう祈念し、新年の

年4月より「農地を活かし、持続可能な大阪農業を創る運動」を推進しております。

農業委員、推進委員の皆様方におりましては、引き続き、地域農業者の代表、地域の世話を役としての活動を一層充実させていただき、大阪農業の活性化に格別のご尽力をお願いいたします。

結びに、皆様方によりまして本年が希望に満ちた佳き年となりますようご祈念申し上げ、新年のあいさつといたします。

大阪府農業委員会組織では昨



## 農地パトロールに市長が同行 八尾市農委・遊休農地解消の一歩

八尾市農業委員会（齊藤曉会長）は11月7日より、農業委員・推進委員全員と事務局で農

地パトロールを実施。21日には大松桂右市長、齊藤会長、役員地区担当委員の5人と事務局職

え、農地と扱い手とのマッチングを継続することが重要だ」と述べ、激励の言葉とともに委員会へ引き続きの協力を求めた。

農地は貯水池に隣接し水利条件は良好だが、遊休化により雑草が繁茂し、草刈りだけでも多大な労力を要する状況だ。

は容易ではないが、放置すれば増える一方だ。一筆ずつでも減らしていくとの思いで、まずは事務局と連携し地主の戸別訪問に取り組む」と今後の方針を話す。(林佑)



齊藤会長(右端)、大松市長(左端)と  
11月21日の参加委員

平時の自給率維持・向上が重要  
給食・教育を通じ農業理解促進を

東海 · 近畿農委女性委員研修会

11月28日、東海・近畿ブロック農業委員会女性委員研修会が滋賀県東近江市内・同市立能登川コミニュニティセンターで開かれ、同ブロック内の女性委員、各府県農業会議など152人、大阪からは女性委員3人が出席した。記念講演では、東京大学大学院農学生命科学研究科特任教授

鈴木氏は、日本の食料自給率は38%だが、種や肥料まで含めるとたった9・2%となり、物流が停止した場合、日本は餓死者が多発する可能性があるため、危機感を持たなければならないと説明。

小規模層であるため、増産に向けては、補助金により農家所得をもつと行うべきと強調した。また、農作物の大きな需要を確保と農業者出口対策としては、その鍵は学校給食であり、地元の農産物の提供を後押しする政策を強化していかねばならないとした。

さらに、将来の社会の担い手となる子供たちへの農業の理解を

市北東の山間部に位置する同  
地区は遊休農地が増加傾向にあ  
るが新規就農者もあり、花きや  
花木が古くから生産されている  
巡回にあたり、大松市長は  
「農業委員会の日々のパトローニ  
ルに感謝している。長年の課題  
である遊休農地の解消には、地  
域をよく知る委員の意見を踏ま

豊中市では市農業委員会（計博美会長）と連携し、市都市農業振興基本計画（令和2年3月策定）に基づき、防災農地登録制度の導入に向けた取り組みを進めている。令和8年度の制度の施行をめざす。

## 豊中市、防災農地制度導入へ

## 市都市農業基本計画を実現

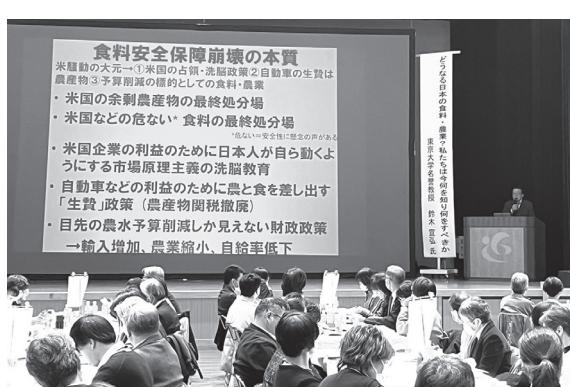
を実施。アンケートでは、登録への意向とそのための条件、登録への協力が可能な具体的な農地の地番などをたずねた。

現在、市ではアンケート調査結果を集計・分析しており、同時に協力意向のあつた農家に對

し登録の個別説明を行う予定。  
今年度中には、制度実施要綱の策定準備を進めるほか、候補となる農地の調査を行う。(北川)

昨年末には市内の農地所有者約300人を対象に防災協力農地の制度周知とアンケート調査

醸成・周知を図ることも重要として、農業委員会でも強く国に働きかけを行うよう参加者らに呼びかけた。



「日本の備蓄はたった約1.5カ月分。米・農産物の増産の検討が最重要の課題」と鈴木氏

## 地域に根付くイチゴづくりを

大阪市・山口 博之さん

山口ファームの山口博之さん

(55)は、都市農地の貸借の円滑化に関する法律により、昨年4月に大阪市東住吉区の生産緑地13アールを借り受けて新規就農した。府が北部地域で令和4年度に実施した「いちごアカデミー」での研修を終えて、農地を探していたところ、前職である施設園芸資材メーカーとしての業務のつながりから、今の生産緑地

の所有者と知り合った。

所有者は高齢のため農作業を続けることが難しく、貸付の意向があることを知った山口さん。

「大阪市はイチゴの主産地ではないが、地域住民と関わる農業が出来るのではないか」と都市部の立地に魅力を感じ、借り受けに向け、大阪府中部農と緑の総合事務所経由で市に相談。大阪市における同法に基づく初め

ての貸借事例となつた。現在、高設栽培の設備を導入し、イチゴ「章姫」を栽培。前職で販売していた設備を自作で設置するなど、培ってきた知識を活かしている。多くの新規就農者が設備ごとの特徴や栽培手法との相性を試行錯誤しながらが出来るのではないか」と都市

の住宅街という立地から地域住民に声をかけられる機会も多く、軒先販売など直接交流を伴う販売方法についても検討している。

山口さんは、「まずは美味しいイチゴの安定生産が目標。山口ファームのイチゴ」として地域に根付け、体験摘み取りなどの地域に密着した活動などを検討したい」と話す。

(沼田)



この冬に初めての収穫を迎えるイチゴとともに

## なにわ農業賞受賞者紹介89

## 地域農業をけん引する担い手に

富田林市・辻田 陽平さん

確保・費用低減を図っている。

先代から受け継いだハウス

14棟は1カ所に集約されてお

り、1日に2~3回自動販売

機に野菜を補充してなお完売

は、市場出荷や小売店での販売

を予定しているほか、大阪市内

を卒業後、造園会社での勤

務を経て23歳で親元就農。代々

受け継がれてきた良質なナス

子どもの頃から親の農業を

継ぐことを志し、府立農芸高

富田林市別井の辻田ファーミリーファームの辻田陽平さん(48)は、千両なすとキュウリの施設栽培を中心に、約150アールの農地で営農している。

子どもの頃から親の農業を

継ぐことを志し、府立農芸高

校を卒業後、造園会社での勤

務を経て23歳で親元就農。代々

受け継がれてきた良質なナス

子どもの自家生産が特長で、苗代

が高騰する中でも、接ぎ木苗

を自前で育成することで品質



ナスの苗を生産するハウスで

するほどの人気。令和元年の受賞当時にも消費者への直接販売を志向して

おり、これが形になつたものだ。

地域活動にも積極的で、

も農業の普及に貢献して

いる。

農業の普及に貢献して

いる。

農業の普及に貢献して

いる。

農業の普及に貢献して

いる。

農業の普及に貢献して

いる。

辻田さんは「担い手の高齢化が進む中で、地域農業と農地をどう維持するかが課題。現役世代として真剣に取り組んでいきたい」と話す。

(沼田)

新年なので富士山のお話  
明けましておめでとうございます。本年も「農業気象コラム」をよろしくお願ひします。今日は新年ということで、いつもと趣向を変えて、富士山のことをお話しします。

元日のテレビで、ヘリからの富士山の初日の出を中継していますが、離島以外では、富士山頂が初日の出が日本で一番早い場所とされています。これは、同じ経度なら、冬はより南の方が早く日が上がる。

富士山頂に測候所があつた  
新年なので富士山のお話  
明けましておめでとうございます。本年も「農業気象コラム」をよろしくお願ひします。今日は新年ということで、いつもと趣向を変えて、富士山のことをお話しします。

第二十一回

## 天気のおつちやんのコラム

気象予報士、元普及指導員  
森田 彰朗



一番早い初日の出を挙める

新年なので富士山のお話

ます。本年も「農業気象コラム」をよろしくお願ひします。

今日は新年ということで、いつもと趣向を変えて、富士山のことをお話しします。

○同じ緯度なら、より東で、高

い標高の方が早く日が上がる。という原則を元に計算すると、富士山頂の初日の出の時刻が、日本一早くなるそうです。ちなみに離島も入れると、我が国最東端の南鳥島が富士山より早く初日の出を迎えます。

富士山頂に測候所があつた  
今年なので富士山のお話  
明けましておめでとうございます。本年も「農業気象コラム」をよろしくお願ひします。今日は新年ということで、いつもと趣向を変えて、富士山のことをお話しします。

（1月）  
ワントポイント農業気象  
冬型気圧配置による降雪と  
凍結（特に山間部）



## 農業者組織と府幹部職員が意見交換

経会・法人協・大青協が共催



農業現場における様々な課題について意見交換した

昨年12月8日、大阪府農協青壯年組織協議会（中筋秀樹委員長）と共に、大阪市内で府環境農林水産部幹部職員との意見交換会を開いた。経営者会議役員・法人協会会員、大青協役員の農家19人、府からは塩屋農政室長、溝淵推進課長をはじめ各農と緑の総合事務所農の普及課長ら12人など計52人が出席。

会では、「営農条件に応じて必要な担い手支援」を協議テーマとして設定し、まず大阪府の担当者が「地域計画の分析結果」について説明した。

い標高の方が早く日が上がる。という原則を元に計算すると、富士山頂の初日の出の時刻が、日本一早くなるそうです。ちなみに離島も入れると、我が国最東端の南鳥島が富士山より早く初日の出を迎えます。

富士山頂に測候所があつた  
今年なので富士山のお話  
明けましておめでとうございます。本年も「農業気象コラム」をよろしくお願ひします。今日は新年ということで、いつもと趣向を変えて、富士山のことをお話しします。

（1月）  
ワントポイント農業気象  
冬型気圧配置による降雪と  
凍結（特に山間部）

府内331地区の地域計画を分析したところ、約1800ヶ所が10年後に担い手不在となる恐れがあり、地域が認識する現状の課題としては、9割以上の地区で担い手の確保が挙げられておりほか、農地条件の改善や収益性向上を課題としている地区が多いことを説明。担い手の経営拡大に向けた支援の充実や基盤整備等の強化を図っていくことを述べた。

続く意見交換では、住宅地に囲まれた農地での周辺住民との共存に苦慮している声が多く挙がった。また、本来公益性があ

るはずの水路について農家だけに管理の負担がかかっていることを懸念する意見も出された。担い手支援についても、新規に農者の確実なステップアップにつながるよう段階的に支援するとともに、中堅農家の営農継続に向けた支援も必要であるとの指摘があった。

また、補助事業の導入に際しては、都市部に適した評価基準が必要との意見や、規模拡大を前提とした設備導入だけでなく、既存設備の改修にも使える柔軟な支援策を望む声も上がった。

（沼田）



# なにわの伝統野菜、25品目に

## 大阪府が「石川早生芋」を認証



ほ場風景（大阪府環境農林水産部農政室提供）

培に供する苗、種子等の確保が可能で、③現在も府内で生産されている野菜を認証するもの。

今回の認証を含め、計25品目が認証されている。

石川早生芋は、粘質で味が良く、子芋が小ぶりで丸い、うえ、早生種であることが特徴。

江戸時代には原産である南河内郡石川村（現河南町）を表す「河州石川」の名とともに生産・流通の記録が寛政11年（1799年）の「青物市場記」に確認されるなど、古くから大阪の土地に適し、生産してきた。

現在も、南河内管内では石川早生芋が生産されているほか、泉州地域では、石川早生芋とともに、南河内管内では石川早生芋ととて、これからも石川早生芋をはじめとする南河内の特産を活かし、試行錯誤を重ねながら、地域の魅力を伝える菓子づくりとなつてきている。

## 石川早生芋の魅力を和菓子に

### 地元店舗が開発

富田林市喜志の和菓子屋「御

菓子司「かづら屋」では、石川早生芋を使用したお菓子「太子の里」を販売している。

平成20年に（一社）大阪府食品

産業協会（当時）と連携して石川早生芋の粉末化に取り組んだ。

白あんに練り込み、石川早生芋の食味と風味を楽しめるお菓子となつてきている。

同店ではこれまで河内ワインやイチジクなど南河内の特産

を用いたお菓子を数多く販売。

また、無添加で素材の味を活かす、季節ごとのお菓子づくりをとことん追究してきた。

2代目代表・奥田辰造さんは、

「この地に根差す和菓子屋として、これからも石川早生芋をはじめとする南河内の特産を活かし、試行錯誤を重ねながら、地域の魅力を伝える菓子づくりに取り組んでいきたい」と話す。

（沼田）



門真市農業委員会（西村覚会長）は11月8日、門真市農業まつりの記念事業として、同市農業の市民理解の促進を図るため、同市の特産品で、昨年「なにわの伝統野菜」にも認証された河内れんこん（門真れんこん）の写真展示を行った。

同市では古くから粘土質の土壤に恵まれ、市内に自生していたレンコン

に品種改良を重ねてきた。昭和初期以前から独自の栽培方法により誕生したものが門真れんこんで、もちろんとした食感と独特の粘り気が特徴だ。

会場では、畑に運搬用の船を浮かべて播種する様子や、収穫、出荷調整の風景など、同市農業の特色が伝わる写真を展示了。また、「備中くわ」や「レンコンすき」といっ

## 歴史ある特産品を市民にPR

### 門真市農委

た農具も並べられ、来場者の関心を集めていた。

西村会長は「門真れんこんをより多くの方に知つていただき、なにわの伝統野菜として後世に残せるよう、今回の写真展が少しでもお役に立てれば」と話す。（林佑）



西村会長と11月8日の展示ブース

府立環境農林水産総合研究所）主任研究員の森下正博さんは、「今回の認証に際して来歴等の調査に携わった。長年の研究が認証という形で実を結び、安堵している」と話す。（沼田）